

# つどい

第 5 号

大 代 公 民 館

昭和47年 1 月 1 日発行

## 年のはじめに

原 田 秀 興

ご家族お揃いで芽出たく新春を 迎えられるましたこと 大慶に存じます。

頭白しとて、このことによりてのみ

彼は長老たらず (中略)

空しく老いたる人とのみ呼ばれん

法句経の一節です。考えさせられます。

五十才の元曰 私はぎくつとしました。

人生の終着駅をまぢかに 肌を感じたからであります。

走馬灯のように 過去のいろいろな事が浮んで来ましたが 何一つ高価なものはありません 外観ばかりが美しく内容は がらくたばかりです 「自分のため」のものばかりで ひと様の役にたつものはありません。たまに あつたと思つて裏がえして見たら 今こうしておけ。先でよいことになつて返つて来ると計算がしてありました。

激動する社会の荒波は高く 人の心は大きく揺れています。あなたも私もその中において 私だけは正しいと思ひこんでいます 「空しく老いたる人」の数に入らぬ生活を営みたいものであります。

## 語る

大代中学校生徒会

郷土を愛する心は誰もが持つておられることと思います。勿論 私達中学生も同じことですから 私達が郷土愛護という点で活動している事は 全くと云つても良い程ありません。然し、これではいけない。この大代町は私たちの手で 守らねばーという意見が生徒会の間で強まり ついに比度「私達の手で大代町からごみをなくそう」ということで「大代町ごみゼロ運動」という運動を行なうことになりました。そして「ODO」をこの運動の名として町内にごみ箱を配ることにしました。郷土からごみをなくすという事は 私たちの自覚と協力さえあれば実行出来ることです。ですから町民一人一人がこぞつて「ODO」運動を理解され 協力して欲しいと思います。

大代のまちから 一つかごみがなくなるまで おとなの皆さんと 私達中学生は 歩みつづけたと思います。

ご協力を お願いします。

「註」「ODO」運動とは、Oは大代町

Dは「みまもり」の頭文字、Oはゼロ。

# 責 任

人間の人間たる意義 他  
の動物に比べて特にすぐれ  
ている点が多く学者によつ  
て述べられているが要約す  
ると三点に挙げられる。

その一つに「人間は自分  
の言動に責任をもつ」とあ  
る。よく訓練された犬や猫  
は戸障子を、あけて家に入  
るが、あとを閉めたい。そ  
れは、彼らは責任を感じて  
いからである。

自分の言動に責任を持た  
ない人は、姿は人間で心は  
畜生であるといわれる。と  
学者は述べている。

新年を迎えるにあたり過  
去をふり返り、自分の歩ん  
だ足あとを見つめ、少しで  
も改むべきは改めるべく努  
力すること、責任を持つ  
ことになると思う。

自分のいのちを大切にす  
る人は、他人のいのちを大

切にする人である。

10代さかのぼると、先祖

の数は一〇二四人となる。

その中の一人でも、欠けた

とすれば今日の私はいない。

私のいのちの中には先祖

のいのちが脈うっている

先祖のおないが、いのちが

こめられている。それは

わが子に託している。親であ

る「私」を見れば、うなず

けるであろう。

ここに責任を感じられる。

日本人は公徳心に欠けて

いると日本人自身云う

生活の中で、責任の持ち方

に問題があるのではなから

うかと私は思う。

やりなおしの出来ない今

日一日の「私のいのち」の

動きに、責任を持ちたい。

何故なれば、今日という毎

日は、実は私の生涯の最後

の一日なのだから。

# 連絡所だより

児童手当制度が一月から施  
行されることとなりました。

●児童手当制度とは

児童が心身とも下すこやか

に成長することは、国民す

べての願いであり、家庭と

社会がともどもに児童の健

全な育成に努めることが望

まれます。このための施策

のひとつとして、児童手当

法が生まれられました。

●児童手当を受けられる人

十八才未満の児童を三人以

上養育しており、そのうちの

一人以上が義務教育終了前

(四十七年度は五才未満)

の児童であること。

●児童手当の額は

受給資格児童一人に対し月

額三千円です。

●第一回支給は三月です。

資格者は二十二名で認定事  
務は完了しました。

# 46年 主な出来ごと

大代中学田植やし天覧

大代バレーボールクラブ誕

生 準備を得る

大代小学校に剣道部誕生

大代高校柔道部 全国大会

へ出場す

水害と産米の不作

市政懇談会開催

大代大田間旧国道 完全舗

装なる

飯谷に簡易水道設置さる

公民館の調理室完成す

第一回町民バレーボール大

会開催

# 頌 塔

元 旦

大代公民館

大代連絡所

社教大代支部

# 座右の銘

婦人会長 尾崎三枝子

戒すこともなく昭和四十

六年も過ぎてしまいました。

一体何をしたのだろうと振

り返つて見ても、取立てて

並べる何物も反いの気が

つくど、一抹の淋しさが残

ります。

今年こそはと計画を樹て

ても、何時の間にか軌道を

外れてしまいます。でも計

画は樹てそれに近づく様努力

する事は大切だと思ひます。

仕事の面では比較的計画

通りに行きますが、自分を

高める面、精神的な面は、

なおざりになり易い様に思

います。

私等の子供の頃、格言を

教わりました。短い言葉の

中にある尊く豊かなものに

心をひかれたのです。座右

の銘として自分に言い聞か

せて居事もありました。

手紙に當つて格言を思い出し、少しでも心のかてに出来たりと思ひます。

格言等

上手なうそより

下手な実意

人は一代、名は末代

ちりも積れば、山となる

孝行をしたい時には親はな

く、墓に布団はきせられず

親しき仲にも礼儀あり

転ばぬ先の杖

玉磨かざれば、光なし

笑う門には福来たる

百聞は一見に如かず

弘法も筆の誤り、鎌も木か

ら落ちる

歲月は人を待たず

雨降つて、地固まる

蟻の穴かり、堤のくずれ

## 生 衛 インフルエンザ

いよいよ本格的な寒さが

やつて来ましたが、寒さと

言えは流行性感冒がつきも

のです。

大正七年の世界的大流行

はインフルエンザ大量発生

で有名といわれていますが

この年は、国民三人に一人

は罹患し、死者は四十万

人にのぼつたと言われ、大

惨事であつたに違いありま

せん。

かぜは万病のもとと言わ

れ余病、殊にお年寄は肺炎

を併発し易いので、風邪く

らいと馬鹿にせず、早めに

十分手当をする必要があり

ます。

無理にがまんする人が多

くなると、本人の病状が悪

化するだけでなく、次第に

大流行の方向へと進みます

ので、次の点に心がけま

しょう。

一、流行時には必要な限り出

来りだけ人ごみに出ない。

二、外出から帰ると、うがい

の習慣をつける。

三、マスクを着用する。

これ以上積極的な方法は

お互が免疫力をつけること

つまり予防接種を受けてお

くことが必要でしょう。

## 大代高校より

昨年は牛舎の増築、農場

の拡充等整備され教育環境

の向上は高まりつつあり喜

びに堪えません。

本校の教育は

誠実な人間の生命である

勤労は人格の母である

創造は人生の栄光である

の三つの目標のもとに全力

を注ぎのびのびと明るく誠

実にして堅実な社会人とし

て立派な中堅的人材育成に

努め、卒業生も高く評価さ

れています。

就学を希望する人も高校

へ進学を志す人も勤労を兼

ねて高校コースを学ばれる

本校への入学をおすすめて

ます。

(大代高校後援会)

# 社協だより

現金	一九一四〇円
米、豆類	一〇四六kg (二四三五〇円)
山田婦人会	一、五〇〇円
上市婦人会	一、〇〇〇円
市社教	九三〇〇円
合計	四五、二九〇円

歳末助け合い運動に御協力いただき右表の通りの淨

## 交通安全

交通事故の被害者のうち歩行者の不注意も随分多いと言われています。

改正された法規によると先ず歩行者の安全に配慮がなされているのは尤もなことです。正しい歩き方正しい横断がなされればまだ事故は減って来ることでしょう。路上の立はなし、うっかり

賤の額となりました。

町民みなさまの善意とあたらかい お心づくしをそれぞれ お配りしました。有難うございました。

香典がえしに替えて左記の方々より大代支部へ御寄附がありました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 上市 桜井マスノ殿
  - 柿田 横手 和男殿

とびだし、うっかり横断、車にはよく注意しましょう。飲んだら 乗るな 乗るなら 飲むな

## 公民館だより

町民バレーボール大会が文化祭の行事として催されました。参加した八チームは練習で身につけた実力をぶっつけ合い 明るく和やいムードで熱戦がくりひ

ろぐられ 下市下谷チームが優勝し公民館盃を獲得しました。尚三位まで木村酒造より副賞が贈られました。スホーツを通して町民相互のふれ合いが強まる姿は頼母しく感じられました。

調理室が十二月廿五日に完成しました。生活のエネルギー源を勉強し研究して明日の大代を築き上げるよう 特に婦人の方々にお願いをいたします。

公民館の風格がととのい活動部門が充実しました。町民各位の御協力に対し改めて御礼申し上げます。

中学校生徒会から貴重な声を聞き 心強く思ひ且つ反省させられました。

子どもは親の生活を見ています。清く生きようとする彼らの 心の芽を大切に育て 伸ばしたいものです。

三町内のごみ焼却炉が、上市の農協倉庫わきに設置されましたが利用者がなくあくびをしています。中学生の声をしほませたいよう心がけましょう。

成長ざかりのわが子の教育を考える時、親の責任において、じっくり考えねばならないことがあると思います。家庭教育学級をその場として、何かを学び子ども的人格形成に心を、そそぐ親になるよう努めることなのであります。一、二、三月に学級を開きますので、繰り合わせご出席下さい。



あとがき

忙しいでしょうが、ご家族みんなで一度は読んで下さい。十月発刊が出来なかつたことを残念に思っております。ご鞭撻下さい。